



公益財団法人 日本WHO協会 関西グローバルヘルスの集い

～当事者主体の取組み～

2022年12月22日

日本生命病院 国際室

陶 彬毅

I 日本生命病院の取組み

II 実務者としての経験

III 課題

I 日本生命病院の取組み

II 実務者としての経験

III 課題

取組み1

体制の充実

- ・ 医療通訳の配置(中国語、英語)
- ・ 相談窓口の開設
- ・ 翻訳機器の導入【ポケットーク、74言語】
- ・ 現場のニーズに合わせ簡易コミュニケーションツールの作成
【イラスト付き、日・中・英併記】
- ・ ベトナム語とネパール語や時間外の対応を拡充するため、ビデオ通訳の導入
【東和通訳センター】

取組み2

環境整備

- 院内標記の多言語化
- 病院HPに英語と中国語ページの作成
- 各種院内書類の翻訳

取組み3

施設認定

- 2019年5月に
大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関に選定
- 2020年4月に
ジャパンインターナショナルホスピタルズ(JIH)に推奨

年度別LJP患者対応件数推移(延べ)



I 日本生命病院の取組み

II 実務者としての経験

III 課題

経験1

白内障に対する水晶体再建術をうける60代女性、中国福建省出身、方言しか話せない。

問題点：

- ・ 標準語が分からない
- ・ 手術は局所麻酔で、術中には先生の指示に従う必要がある

⇒ 解決策：

ご主人も医療通訳も手術室に入り、三者通訳で対応した。

経験2

中東出身の40代夫婦、母国語はペルシア語。

患者さんは英語できるが、奥さんはペルシア語しかできない。

腹痛で受診、胆石症と診断、石が十二指腸乳頭部に嵌頓のため外科治療が必要。

問題点：

- ・ 患者さんは医療の専門用語が詳しくないため、奥さんに納得してもらえない
- ・ ペルシア語ができる患者の友人(日本人)に頼んでも、通訳がうまくいかない

⇒ 解決策：

ネットで胆管膵の解剖図をさがし、30分ぐらいかけて説明し、夫婦とも納得した。

経験3

英文メールでの問合せ：

- ・ 肥満
- ・ 主治医に減量のアドバイスをされた
- ・ ダイエット外来にて受診を希望

対応：

- ・ 本院ではダイエット外来はない
- ・ ダイエット外来がある医療機関を探して返答した

I 日本生命病院の取組み

II 実務者としての経験

III 課題

課題1 – 社会環境

例① 中国人のお母さん(中国語のみ)が区役所で
助成金申請手続きの際の電話通訳

⇒ 他機関も積極的に対応することを望む

例② スロバキア人(英語のみ)が入職時健康診断のため、
二年続けて英語対応できる施設を探すため来院

⇒ 関係省庁は対策について工夫し、情報共有したが、
フォローすることを望む

課題2 - 医療通訳サービス

- ・ 中国語や英語の使用人口が多いため、質の高い通訳サービスを提供できる
- ・ 日常生活の通訳者すら多くない言語もあるので、医療専門用語の通訳を求めるのは困難

- ⇒
- ① 言語による医療通訳サービスのばらつきをなくす？
 - ② 全ての患者が同質の医療サービスを楽しむには方法がある？

御清聴ありがとうございます。

